

| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
|--------|-----|-----|--------|
| 前期 | 1年 | 2 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 濱田 薫 | | | |
| 添付ファイル | | | |

| 全担当教員 | 濱田 薫 | | |
|-------|--|-------|-----|
| 概要 | 複雑な健康問題を持った対象の身体状況について系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術を修得する。質の高い看護実践を行うために、在宅ターミナルの事例や複雑な健康問題を持つ事例を用いて対象の身体的情報を適確に捉え、実践的なアセスメントの手法と臨床判断を学ぶ。 | | |
| 目標 | 1) 高度実践看護師に必要な、系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要なフィジカルアセスメントの知識と技術を身につける。 2) 各系統別に得た情報を統合し、臨床場面における推論に結びつける。 3) 在宅ターミナルの事例や複雑な健康問題を持つ事例を用いて、多様な臨床場面における重要な病態の変化や疾患を、包括的にいち早くアセスメントし臨床判断ができる。 | | |
| 評価方法 | 1) グループ討議 30% 学習内容を臨床実践で活用した経験をグループ討議で共有し、深めることができる。 2) レポート 50 % A4 1600 字× 2枚。「講義から学んだことと臨床看護における活用」 3) 出席状況/取り組み方 20 % | | |
| 授業計画 | 授業内容 | 授業形態 | 担当者 |
| | 1 フィジカルアセスメントの理解 | 講義 | 濱田 |
| | 2 循環器系の診断技術と判断能力の習得 ①診察手技と心音・心雑音の理解 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 3 循環器系の診断技術と判断能力の向上 ②心電図の基本とモニター心電図の理解 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 4 呼吸器系の診断技術と判断能力の習得 呼吸器系①呼吸生理の基本的知識 呼吸機能検査 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 5 呼吸器系の診断技術と判断能力の向上 呼吸器系②胸部X線読影の基本と胸部CT | 講義・演習 | 濱田 |
| | 6 腹部の診断技術と判断能力の習得および消化器系疾患のアセスメント | 講義・演習 | 濱田 |
| | 7 脳神経系の診断技術と判断能力の習得 神経系診察手技と評価、意識障害・末梢神経障害と反射の理解 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 8 腎・泌尿器系の診断技術と判断能力の習得 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 9 代謝疾患・内分泌疾患とフィジカルアセスメント | 講義・演習 | 濱田 |
| | 10 術後の診かた-特に消化器外科領域の術後の問題点の把握と対応- | 講義・演習 | 濱田 |
| | 11 皮膚および体表の所見と看護学的判断 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 12 筋・骨格系の診察とアセスメント 診察手技(握力、徒手筋力検査、関節可動領域検査、脊椎変形の評価など)の習得 | 講義・演習 | 濱田 |
| | 13 小児科領域のフィジカルアセスメント 幼児の神経学的発達診断 | 講義・演習 | 濱田 |

| | | | | |
|------------------|--|------------------|-------|----|
| | 14 | 在宅医療とフィジカルアセスメント | 講義・演習 | 濱田 |
| | 15 | 事例検討：総括と講評 | 演習 | 濱田 |
| 授業外学修（事前学修・事後学修） | | | | |
| テキスト | | | | |
| 参考書 | 1) 藤崎郁 フィジカルアセスメント完全ガイド 学習研究社 2) 山内豊明 フィジカルアセスメントガイドブック 医学書院 3) 日野原重明 フィジカルアセスメント ナースに必要な診断の知識と技術 医学書院 | | | |
| 学生へのメッセージ等 | | | | |